

# 大谷學報

第五十七卷 第四号

昭和五十三年一月三十一日発行

「無始時来」の原語と思想……………佐々木現順 (1)	— anamatagga -> anadikala —
親鸞の朋友観……………大門 照忍 (16)	
広宣上人考 (下)……………平野 顯照 (31)	— 唐代詩僧伝 —
歴史と宗教現象の動態……………古賀 武麿 (47)	— 歴史解釈の方法論的序論 —
中世末期における……………豊島 修 (58)	熊野那智本願について……………
— 青岸渡寺文書を中心に —	
大谷学会研究発表会要旨…………… (71)	
昭和五十二年寄贈交換誌目録…………… (85)	
彙報…………… (94)	

大 谷 大 学

大 谷 学 会

大谷学報 第五十七卷 第一号

親鸞の往生理解……………寺川 俊昭

『月に吠える』の二三の作品……………仲野 良一

——『独絃哀歌』との脈絡について——

ハンスリック研究序論……………滝本 裕造

近代精神と宗教理解……………築山 修道

——シュライエルマッハーの宗教理解を廻って——

アビダルマ仏教的判決の諸相……………吉元 信行

金子大榮先生を偲ぶ

金子大榮先生の若き日を偲びて……………松原 祐善

山口益先生を偲ぶ

山口益先生を偲ぶ……………佐々木教悟

昭和五十一年度卒業論文題目一覧

大谷学報 第五十七卷 第二号

「活動学校」の問題点……………太田 祐周

明代神楽観攷……………滋賀 高義

ウィルヘルム・シュレーゲルと

『シエクスピア批評』における

コールリッジ……………山下 登

現代の階級・階層とその生活問題……………松村 尚子

西南日本の玄武岩中の

チタノマグネタイトについて……………西田 潤一

昭和五十一年度特別 研究員 研究発表要旨

# THE OTANI GAKUHO

(THE JOURNAL OF  
BUDDHIST STUDIES AND HUMANITIES)

## CONTENTS

### Articles :

A Pāli Equivalent of “無始時來”  
and its Thought .....*Genjun H. Sasaki* ( 1 )

Shinran's View of “Friends  
in the Dharma”.....*Shōnin Daimon* ( 16 )

A Study of Kuang-hsüan shang-jên  
—The biography of a poet-priest of the  
T'ang dynasty (2)— .....*Kenshō Hirano* ( 31 )

History and the Dynamics  
of Religious Phenomena .....*Takemaro Koga* ( 47 )

*Hongan (hijiri)* at Nachi, Kumano Region  
in the Late Middle Ages  
—around the Seigantoji document— .....*Osamu Toyoshima* ( 58 )

**Resumés** of the Papers presented  
at the Otani Society Annual Meeting ..... ( 71 )

### Miscellaneous

---

PUBLISHED FOR THE OTANI SOCIETY  
OTANI UNIVERSITY  
KYOTO, JAPAN

## 大谷学会規程

第一条 大谷大学に大谷学会を置く。

第二条 本会は真宗学・仏教学・哲学・史学・文学並びにこれに関連する学術の研究と、その発表をおこなうことを目的とする。

第三条 本会は前条の目的を達成するため、左の事業をおこなう。

一、季刊「大谷学報」の発行

二、「大谷大学研究年報」の発行

三、研究会及び公開講演会の開催

四、その他必要なる事業

第四条 1、本会は大谷大学大学院・文学部並びに短期大学のすべての教育職員及び学生をもって会員とする。

2、前項のほか、本会の趣旨に賛同し、役員会において承認されたものは、会員となることができる。

第五条 本会に左の役員を置く。

一、会長

二、委員

第六条 会長には大谷大学学長が当り、

会務を統理する。

第七条 1、委員は十名とし、教授会において互選する。

2、委員は企画・編集・出版等の会務を掌理する。

3、委員の任期は二年とする。但し再任をさまたげない。

第八条 会員は本会の出版物にその研究を発表し、「大谷学報」並びに「大谷大学研究年報」の配布を受け、本会主催の会合に出席することができる。

第九条 会員の会費は年額金壹千五百円とする。

第一〇条 1、本会の経費は会費をもってこれに当てる。

2、本会の必要経費については、助成金を受けることができる。

第十一条 本会の事務は、教務課の所管とする。

第十二条 この規程の改正には、教授会の議を経なければならない。

附則 1、この規程は昭和四十八年

四月一日から施行する。

2、昭和三十七年四月一日施行の「大谷学会会則」はこれを廃止する。

## 大谷学会役員

委員 岩見 至 大屋 憲一

柏原 祐泉 佐々木教悟

長崎 法潤 名畑 崇

広瀬 英一 藤原 幸章

箕浦 恵了 山本 唯一

昭和五十三年一月三十一日発行

大谷学会

編集兼 北 西 弘  
発行者

印刷者 西村 七兵衛

京都市北区小山上総町

大谷大学内

発行所 大谷学会

振替 京都 一八三九三番  
電話 〇七五 四三一二二代  
郵便番号 六〇三